

有田JC

[和歌山]

現役の各種事業をサポート OBはスポーツを通じて親睦

有田市は和歌山県の北西部、県庁の所在地である和歌山市から南へ約30^キの所に位置し、有田JCは2005年3月31日現在、有田市、有田川町、湯浅町、広川町の1市、3町で人口約9万人の「まち」で現役メンバーが活動しております。エリア内は、歴史や文化に満ち溢れています。古くは日本の醤油発祥の地として有名で、その起源は鎌倉時代の1234年にまでさかのぼります。

江戸時代は紀州が生んだ豪商・紀伊屋屋文左衛門の生誕地として知られ、また1854年(安政元年)の南海地震での「稲むらの火」の地として古くから教育の場にも出ている所です。さらに、有田と言えば「有田みかん」。全国的に知られた有名ブランドとして高く評価されています。

もう一つ有名と言えば、1979年(昭和54年)に全国高校野球で甲子園春夏連覇の大偉業を達成した「箕島高校」がある地域です。

有田

JCは1967年に設立され、現在、現役会員36名で活動しています。本年は39周年を迎え、LOMスローガン「No Reason 現在から未来への誘い」を掲げて、船尾哲也理事長をはじめ会員一丸となり、地域振興と活性化を目的に日々



「迷球会」新年コンペ



活動しています。

有田JCでは、卒業生が特別会員となり入会します。現在、特別会員は134名です。有田JCは昔からOB会の結束がとても固いことで知られています。現在、正式にシニアクラブという名前では活動していませんが、活動内容からして全国でも例の無い「活動と結束」で毎年親睦を図っています。中心になっている活動としては、「ゴルフ」があげられます。ゴルフコンペには別に「迷球会」という会の名前が付いて、年間で計6回程度開催します。そのうち2回は海外で、1回は北海道または九州方面で行っています。



「迷球会」新年会

さらに、特別会員でも年齢層の若い人たちは、2年



に1回100^キ自転車レースを開催しています。過去2回の開催では10名程度の参加がありました。第1回は有田市から白浜温泉までを自転車で走り参加者がほぼ完走。第2回は有田市から奈良県の橿原神宮までを自転車で行き、同じく参加者がほぼ完走という「考えられない親睦」を行っています。また、近隣LOMの那賀JCシニアクラブと歴代理事長が互いに出席して親睦を図る会も年1回開催しています。有田JCも来年創立40周年を迎えることとなり、OBとしても現役の活動に全力でバックアップを行い、地域の発展のために少しでもお手伝いができればと思っています。

日本JCシニアクラブ

和歌山ブロック担当幹事 上野祥弘